

## 【医者と患者のコミュニケーション強化による治療と診断方法】 Apple

### ①要約：

このアイデアは、遠隔診断を提供するために患者が自宅で医師とデータを共有できるシステムを開発することを目指しています。患者の健康データを取得し、そのデータを遠隔で医師に提供することで、より効率的で精密な診断が可能となります。

### ②目的：

このアイデアの目的は、患者が医師とコミュニケーションを取りながら、遠隔で診断や治療を受けることができるシステムを構築することです。患者は自宅で簡単に健康データを取得し、医師は遠隔でそれらのデータを解析して、適切な診断や治療を提供することが可能となります。

### ③新規性：

このアイデアの新規性は、遠隔診断システムにおいて患者が自らデータを取得し、医師と共有する仕組みを提供することにあります。また、患者が自身のプライバシーを守りながらデータを提供することができる仕組みも新しいアプローチです。

### ④独自性：

このアイデアの独自性は、Apple が提供する遠隔診断サービスにおいて、個人が医師を選択し、自宅でデータを取得・共有できることにあります。患者のプライバシーを尊重しながら、医師とのコミュニケーションを円滑に行うことができる点が独自性を持っています。

### ⑤経済価値：

このアイデアは、遠隔診断システムを通じて、医師と患者の間のコミュニケーションを強化し、効率的で精密な診断を可能とします。これにより、医療サービスの質が向上し、医療コストを削減することができると考えられます。また、患者の利便性も向上し、健康管理における新たな価値を提供することが期待されます。